

1 研究主題

「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」
～自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を図るための自己指導能力を育成する生と指導の充実～
(4カ年継続研究)

2 研究推進の概要

- (1) 学校経営方針・グランドデザインの交流 [5月]
 - ・昨年度から継続して取り組んでいる。
 - ・クラウド上での閲覧を可能とする。

- (2) 第65回北海道中学校長会研究大会十勝・帯広大会 [9月27・28日]
 - ・9名参加（内分科会の提言者1名、司会者2名、運営委員1名）
 - ・第3分科会「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」での提言発表を行った。
 - ・大会参加報告による交流、研修を深めた。

- (3) 第75回全日本中学校長研究協議会岩手大会 [10月17・18日]
 - ・2名参加。
 - ・大会参加報告による交流、研修を深めた。

- (4) 実践事例交流会 [1月7日]
 - ・「自校の課題解決に向けた取組の実践について」をテーマに全校長がレポートを作成し、それらを活用して有意義な研修を行った。
 - ・11月～12月⇒テーマの周知、レポート作成の依頼、実施要項の提案、原稿集約、レポート集の作成、配付

3 研究の成果と課題 <○成果 ●課題>

- 函館市中学校長会全会員の共通理解のもと、研究主題を共有し一体感のある研究推進ができた。
- 少人数ながら研修部会を効率的に開催し、協力体制を維持することができた。
- クラウド上のグランドデザインを参考に各校長の学校経営方針を学び合うなど、自校の経営に生かすことができた。
- 北海道中学校長会十勝・帯広大会の第3分科会提言発表において、これまでの取組の成果を発揮することができた。
- 道中研修部の提案を受けて、令和7年度以降の研究主題および推進計画を決定する。
令和9年度以降の研究主題等については現時点で未確定であり、新研究体制決定が令和7年2月の予定となっていることから、令和7年度の本研修部研究主題は単年度設定を検討している。
- 令和8年度道中研究大会函館大会の開に向けた計画的な準備を推進する。

1 研究主題

北海道中学校長会 基本主題

「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」を受け、「令和の日本型学校教育」を担う教師の育成（単年度計画）

2 研究主題設定の趣旨

「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」が諮問され、柔軟な教育課程の在り方や教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合い、学習指導要領の趣旨の着実な実現のための方策等が検討されている。これまでの質の高い教師の努力と熱意に支えられ生まれた成果を継承し、子供一人一人に目を向けた時に見えてきた課題に対応するとともに、多様性を包摂し、可能性を開花させる教育が必要とされている。

北海道中学校長会の新たな基本主題「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」が掲げられた。「第4期教育振興基本計画」、「北海道教育推進計画」等の基本理念、方向性の具現化を指向し、函館市中学校長会では、「令和の日本型学校教育」を推進することで、「新しい時代に求められる学校づくり」を展開しながら様々な教育課題に対応するため、会員相互による不断の研鑽を積み重ね、定例研修会や実践交流会などを通じて、経営上の工夫や方策について学び合い、連携を深め、より一層中学校教育の充実を図っていく。

3 研究内容

(1) 教職員としての豊かな人間性や指導力の向上

生徒や保護者、地域の信頼に応えられる教師の育成を、キャリア・ステージに応じた研修を中心に進め、新たな課題に対応できる力量を高める人材育成を図る。

(2) 学校における組織マネジメントや指導の充実を図る研修の推進

地域等と連携・協働し、諸課題の解決に取り組むことができる教師の育成を、「北海道における教員育成指標」をよりどころとし、「学びのセルフ・マネジメント」を促進する。

4 研究推進計画

(1) 組織研究

- ・令和7年度第66回北海道中学校長会研究大会胆振・室蘭大会への参加協力
- ・令和7年度第76回全日本中学校長研究協議会香川大会への参加協力
- ・研究内容や研究の方向性の決定 ・研究内容にかかわる各学校の実践集約
- ・研究計画による調査・研究、調査結果の分析 ・研究内容にかかわる実践の交流とまとめ

(2) 月例研修

- ・学校経営（経営方針・GD）にかかわる交流、実践事例交流会の計画・推進
- ・R8年度道中研究大会の準備・計画推進

5 研究組織

函館市中学校長会研修部・事務局を中心に、北海道中学校長会研修部と連携を図りながら研究を推進する。

6 その他

函館市小学校長会や渡島中高連絡協議会等との連絡・連携も図る。